

～年間損失が15億円!?!～

# ペーパーレス化は“会議改革”から



株式会社エージェンテック

## 1 なぜペーパーレスなのか？

## 2 ペーパーレス化で会議改革

- ・会議が大きな損失を生んでいる
- ・コスト削減だけではないメリット
- ・いかにペーパーレス化を進めるか？

## 3 ペーパーレス化の課題

## 4 ABookBizで課題を解決

- ・製品について

## 5 実績紹介

- ・導入事例
- ・ABookシリーズの実績

## ペーパーレスの歴史

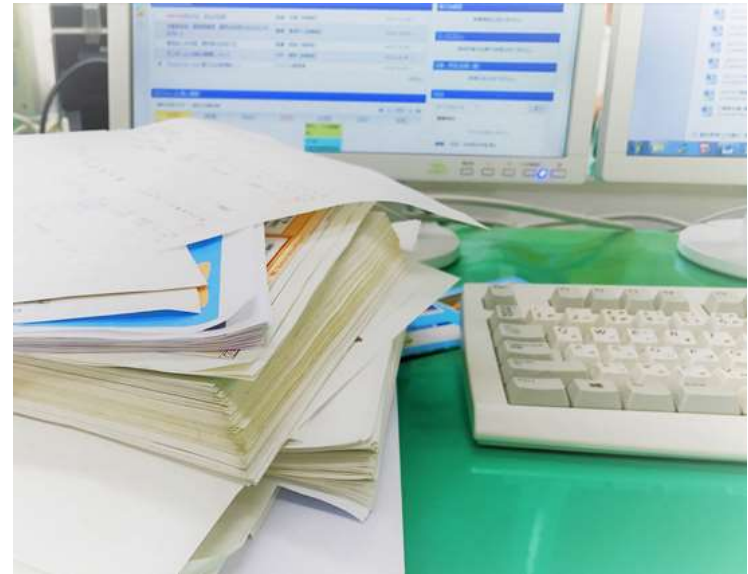
「ペーパーレス」は、**1970年代から提唱**されており、意外に古くからある考え方です。

しかし、当時はまだまだIT技術やネットワーク環境が未成熟であったため、本格的にペーパーレス化に取り組む企業は、ほとんどありませんでした。

近年、「働き方改革関連法」の施行をはじめとして、業務効率化・生産性向上が社会的な課題となっており、その手法のひとつとして、ペーパーレスが注目されてきています。

現在では、**ネットワーク通信の大容量・高速化**や**モバイル端末の普及**などIT技術も進歩しているため、ペーパーレス化に取り組みやすい環境が整っています。

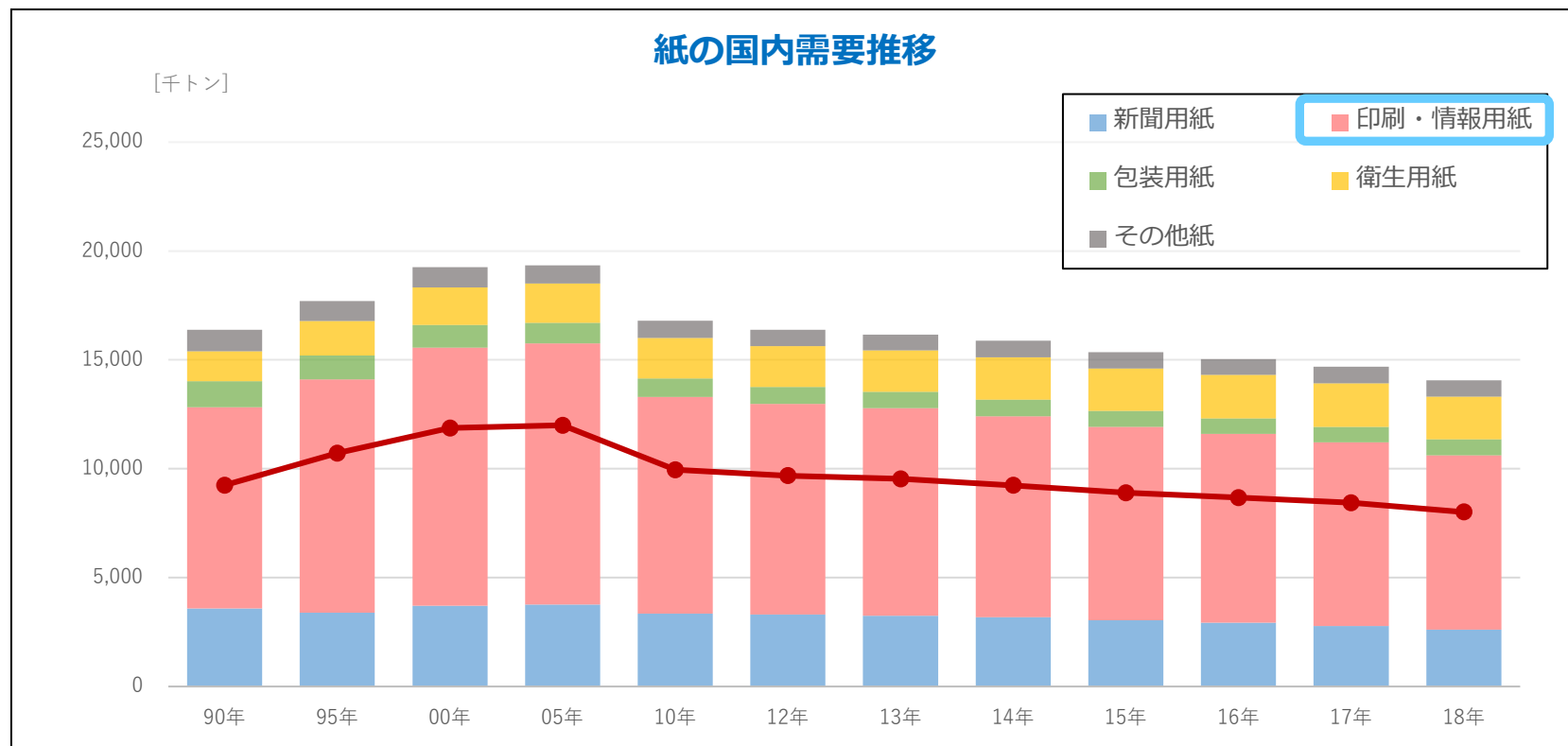
さらには、「e-文書法」制定や「電子帳簿保存法」改正など、書類のデジタル化・ペーパーレス化を後押しする**法整備も進んでいます**。



## ペーパーレス化の現状

日本製紙連合会の調査によると、実際に紙の需要も減少傾向にあります。

「印刷・情報用紙」は、ピーク時の2005年に比べて、2018年は約67%と3分の2まで減っています。徐々にではありますが、日本の社会全体として**ペーパーレス化が進んでいる**といえるでしょう。



※日本製紙連合会「製紙産業の現状 紙・板紙」から引用

## 国が推進するペーパーレス化

ペーパーレス化は、**国が推進**している取り組みでもあります。

1998年に施行された「電子帳簿保存法」は**時代の変化に合わせて改正**を重ねてきました。

2005年にスキャナ保存が可能に、さらには2016年にスマートフォンで撮影した画像も認められるなど**利便性の向上**が図られています。

また、2019年4月には衆院内閣委員会の質疑において、初めてタブレット端末が使用されました。

今後もペーパーレス化の対象を拡大する方針で、自民党の小泉進次郎議員によれば、年間で4億円程度のコスト削減の余地があるそうです。



1998年

電子帳簿保存法施行

2005年

スキャナ保存が可能

e-文書法施行  
電子帳簿保存法改正

2015年

保存要件の緩和

電子帳簿保存法改正

2016年

デジカメ・スマホ  
による保存が可能

電子帳簿保存法改正

### 会議が大きな損失を生んでいる

では、何からペーパーレス化を進めればよいのでしょうか？

最近では、企業・官公庁・自治体において、“**会議改革**”の動きが活発化しています。

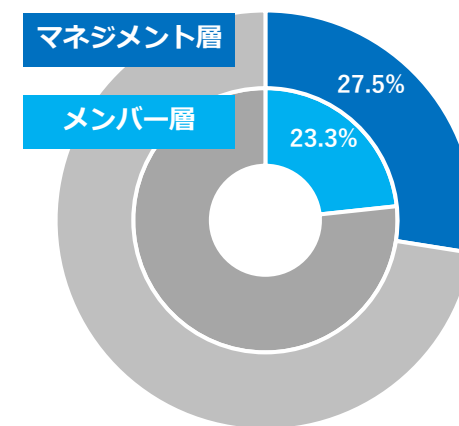
パーソル総合研究所などの実態調査及び試算によれば、従業員1,500人規模の企業では年間約2億円、10,000人規模の企業では**年間約15億円**もの人件費が、ムダな会議に費やされているそうです。

人件費のほか紙や印刷代、準備にかかる手間を考えれば、**会議改革が急務**であることは一目瞭然です。

#### ムダだと感じる会議にかかるコスト

会社全体の 年間会議時間	ムダだと思われる 年間会議時間	ムダ会議に費やしている 年間総人件費
従業員数：1,500名規模		
<b>417,600</b> 時間	<b>91,900</b> 時間	<b>20,830</b> 万円
従業員数：10,000名規模		
<b>2,351,000</b> 時間	<b>669,100</b> 時間	<b>152,740</b> 万円

#### ムダだと感じる会議の割合



※パーソル総合研究所・中原淳（2017-8）「長時間労働に関する実態調査（第一回・第二回共通）」から引用

### コスト削減だけではないメリット

会議のペーパーレス化は、**コスト削減**だけでなく、業務効率化による**生産性向上**、資料のデジタル化による**情報管理リスク低減**など、多くの効果が期待されます。

#### 1. 印刷コスト削減

会議資料には、印刷・コピー代、用紙代がかかります。年間で数百万円のコストが掛かっている企業もあるようです。ペーパーレス化により、印刷コストを大幅に削減できます。



#### 2. 業務効率化

会議資料の取りまとめには手間と時間（＝人件費）がかかります。また、直前で資料の変更があると無駄な業務が発生。これらの業務を他の業務に充てれば、生産性が向上します。



#### 3. 情報管理のリスク低減

資料の管理には、多くの保管スペースが必要になります。また、紙の資料では紛失や情報漏えいのリスクも懸念されます。資料のデジタル化により、情報管理に関する課題が解消されます。

### いかにペーパーレス化を進めるか？

メリットの多いペーパーレス化ですが、実際に推進すると社員からは様々な声が上がってきます。やはり、**性急なペーパーレス化**には少なからず**抵抗がある**ようです。



紙だと資料を並べて見ることができる



新しいデジタルツールは難しそう…



紙の方が慣れていて使いやすい



長年慣れ親しんだ紙ベースの**業務スタイルを変革**するのは時間がかかる大変なプロジェクトです。個人の意識改革はもちろん、企業の「働き方改革」を中長期的に考えて慎重に進める必要があります。

まずは、試験的に**小さな会議からペーパーレス化**を始めるのが良い方法と言えます。

また、すべての書類をいきなりデジタル化するのではなく、必要な資料だけデジタル化していくなどペーパーレスのメリットを明確にしつつ、**運用ルールを改善**しながら進めるのが理想的です。



ファイルをPDF化してタブレット端末で閲覧すれば、簡易的にペーパーレス会議が実現できます。しかし、これだけではペーパーレス化の効果を享受できているとはいえません。

会議資料を紙からデジタル化へと移行をする際に、さまざまな課題点や懸念材料が出てきます。**利便性**や**安全性**などを**十分に確保**できなければ、せっかくのペーパーレス化も意味がありません。

そのために、ペーパーレス会議に適したアプリケーションの選定が重要になってきます。



PDFを参加者に送るのが面倒くさそう…



紙のように手軽にメモを書き込めない…



機密資料の持ち出しが簡単になるんじゃない？

エーブック・ビズ  
当社製品・ABookBizなら、これらの課題を解決できます！

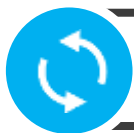
ペーパーレス会議システム**ABookBiz**は、資料をデジタル化するだけではありません。資料に動画や写真などを組み合わせて、紙の資料にはないリッチな表現を加えることができます。タブレット端末の特性を生かした「伝わる」資料を使えば、退屈な会議も議論が活性化。ABookBizは、多彩な機能により**ペーパーレス会議の効果を最大化**できるシステムです。



会議資料の準備が楽に




画面連動で会議に集中



動画や資料をスピーディに表示



紙のように書き込める



ABookBizで  
ペーパーレス化  
を推進！

作成した資料をアップロードして、管理画面から**必要な人だけに必要な資料を共有**できます。  
紙ベースの会議では長い時間がかかっていた会議資料の**準備作業が省力化**できます。  
会議直前での急な資料の追加や差し替えでも即時に反映されるので、余裕を持って対応できます。  
資料は最新の状態で共有されているので、参加者はタブレットを持参するだけで会議に臨めます。  
さらに、会議の終了後に参加者のタブレットから資料を削除することも可能。  
経営会議などで使用する機密性の高い資料でも**取り扱いが安心・安全**です。



司会者のタブレット画面の表示と操作は、すべての参加者のタブレットに**連動表示**します。参加者は、手元のタブレットの画面に集中できるので、資料に対する理解を深めることができます。さらに、強調したいポイントにマーキングしたり、画像を拡大する操作なども連動します。

資料が分かりやすくなれば、説明にかかる時間を議論に充てられるため、**会議が活性化**します。

また、インターネット環境さえあれば、本社と支店などの遠隔地のタブレットの連動表示も可能。会議のためだけに集合する頻度を減らせるので、出張にかかるコスト削減にも役立ちます。



会議で使用する紙の資料をそのままデジタル化するだけでなく、**編集ツール**を使って写真や動画、音声などを組み合わせてリッチな表現の資料を作成することもできます。

紙の資料では表現できない、タブレットの特性を活かしたビジュアル表現を使った**伝わる資料**により参加者の理解を深めることができます。

また、写真表示や動画再生、WEBリンクなどのほか、別資料への**リンク設定**も可能。複数の資料にまたがる説明でもシームレスに表示できるので、**滞りなく議事を進行**できます。



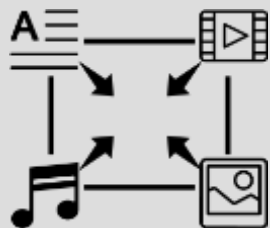
紙に書き込むような感覚で、タブレットの資料に**メモ**を書いたり**マーキング**を付けることができます。会議中の重要なポイントも聞き逃すことなく記録に残せます。

タブレットに書き込んだメモやマーキングの内容は、そのまま**サーバーに保存**されます。会議後に自席へ戻ってからパソコンでメモの内容を確認し、会議を振り返ることができます。また、メモのテキストをコピーすれば、議事録の作成にも利用できるので便利です。

**紙の手軽さはそのままに**、無理なく資料のデジタル化を進めることができます。

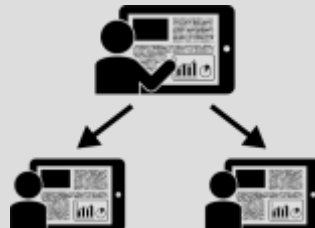


## 資料をアレンジ



編集ツールを使えば会議資料に写真や動画などを加えることができます。紙では表現できない、分かりやすい資料になります。

## 閲覧者の範囲を限定



会議資料の閲覧権限を設定して必要最小限のメンバー間で資料を共有。情報漏えいのリスクを回避します。

## 資料を自動消去



タブレットの盗難や紛失などが発生しても、独自暗号化と管理画面でのファイルコントロールにより大事な資料を守ります。

## 強力な検索機能



資料のタイトルだけでなく、本文内のワードでも検索ができます。膨大な会議資料の中から必要な情報だけを見つけることができます。

## 閲覧データを分析



配布資料の閲覧状況が分かります。参加者の資料の活用度のチェックや資料の改善にも役立ちます。

## アンケートで製品改善



会議資料にアンケートを設置すれば参加者の意見を収集できます。会議資料や議事進行の改善に役立ちます。

### ELCジャパン株式会社 様

### ESTÉE LAUDER

- プレゼンテーションで**60台のタブレットを同期して表示**
- タブレットを取り入れた新しい試みによる**業務のスピード化**
- 参加者の資料に対する興味を喚起し、**コンベンションの効果最大化**



#### 課題

「ベロシティ（速さ）」を企業テーマとして、スピード感を追求するため「デジタル化」を推進。全国の美容部員の代表者が集まる社内コンベンションにおいて「デジタル化」による新しい演出を模索するとともに、参加者への情報訴求力を高める方法を探していました。

#### 導入効果

ABookBizを使って展示物や配布資料をデジタル化し「新しさ」を演出。コンベンションの参加者の積極性を喚起して、情報の訴求力を最大化することができました。従来は、紙の配布や事例写真の掲示などを行っていたイベント運営面の効率化も図られました。



## 5 実績紹介：ABookシリーズの実績



※1 ミック経済研究所「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望2021年度版」による  
※2 2020年10月現在

最後まで本資料をご覧いただきましてありがとうございます。



製品の詳しいご説明やデモンストレーションをご希望される場合は、弊社までお気軽にご相談ください。

運用設計からカスタマイズまで、お客様の業務改善をサポートします。



開発・販売元：株式会社エージェンテック

ABookBizの製品に関するお問い合わせは、電話またはメールにて承っております。

(営業時間 9:30~18:30/土日祝日除く)



03-6206-4361



sales@agentec.jp